

職員定数「増勢」を更に押し進め 国民の「安全・安心」を守る職場へ

職場の皆さんのご理解と、管理職員の運動参加をお願いします。

管理職ユニオンニュース
国土交通省

No337
2020年
3月16日

【発行】
国土交通省管理職
ユニオン

【所在地】
東京都千代田区
霞ヶ関2-1-2 中央
合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138

【Email】
k-union@alpha.ocn.ne.jp

【ホームページ】
<http://www.k-union.network/>

私たち国土交通省管理職ユニオンは、国家公務員の職場で唯一の「管理職員」の組合です。私たちは「職場を良くしたい」「働きがいを持ちたい」「定年後を豊かに過ごしたい」等の思いで運動を取り組み、『要求前進』を築いています。この『要求前進』を確実なものとするため、同じ管理職員の運動への理解と参加をお願いします。

■管理職の皆さん
「悩み」を
共有できる組織！
それが「管理職ユニオン」です

私たち管理職員の仕事は、部下の健康やメンタルも含めた「職員管理」と、国民の安全・安心の為に防災業務や社会資本整備等の業務を「マネージメント」するお仕事です。これら仕事は、マニュアルがあっても各々の特性や運用ルールが日々変化し、戸惑うケースも多々あります。事務所によって異なるローカルルールもあります。また、周囲の人間関係などで悩むケースもあるのではないのでしょうか。

ルが日々変化し、戸惑うケースも多々あります。事務所によって異なるローカルルールもあります。また、周囲の人間関係などで悩むケースもあるのではないのでしょうか。私たち管理職ユニオンは、そんな時に相談に乗れる組織を目指しています。答えが解っていれば教え合いい、解らなければ、一

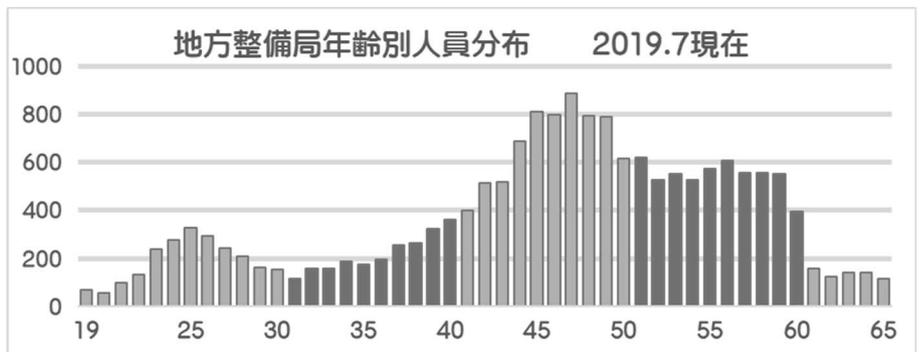
国土交通省 定員削減の推移

年度	予算定員	削減数	増員	地整(港湾込み)	
				国交省削減数	予算定員 削減数
2014(26)	59,054				19,932
2015(27)	58,815	1,259	1,020	-239	19,674 -258
2016(28)	58,573	1,289	1,047	-242	19,455 -219
2017(29)	58,483	1,230	1,036	-194	19,226 -229
2018(30)	58,408	1,290	1,215	-75	19,009 -217
2019(31)	58,493	1,255	1,287	32	18,888 -121
2020(R2)	58,680	1,358	1,545	187	18,989 101

しかし、減らされ続けてきた間、二〇歳代から三〇歳代の職員が決定的に不足し、現場の最前線の出張所では「一人出張所長」

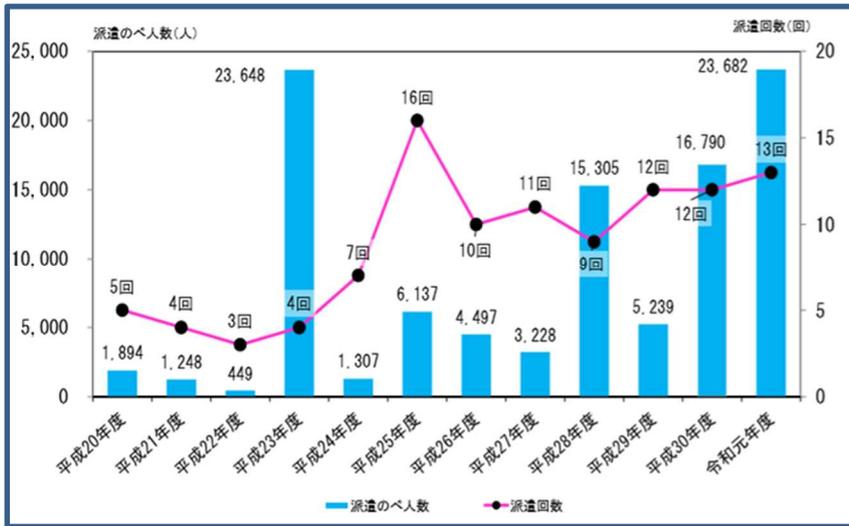
緒に考え、解るところへ一緒に働きかけたいと思っています。
国民の「安全・安心」を守る体制の拡充を！

今、国土交通省の地方整備局は二〇〇一年の省庁再編以来、職員定数は減らされ続けましたが、二〇二〇年の職員定数は、はじめて一〇一名の増勢に転じました。ここ数年、連続して想定外と言われる豪雨災害や地震等が頻発し、国土を守り強くしていく必要性が国民世論となったことの反映です。



体制が増え、また、係長層での欠員が増えるなど、国民の「安全・安心」を守る体制は十分とは言えない状況といえます。





「技術力」と「組織力」 が発揮できるテックフ ォース体制を!

私たち管理職ユニオンは、この「異常気象」と言われる時代を前に、技術力と組織力を発揮できる組織体制を要求

していきます。

テックフォースの派遣も左図のとおり、年々増加傾向です。

「派遣後に残されている仕事の問題」「派遣手当など処遇の問題」「被災地現場で危険を察知する知見と技術。安全研修

の問題」など改善すべき点は

多くあります。

問題の根本に横たわるのは、「人が不足している」事です。現場で技術力と組織力を発揮するため、二〇二〇年に転じた『増勢』を活かし、「地方整備局職員の更なる増員」を目指していきましょう!

その為には、一人でも多い職場の声が必要です。

■管理職特別勤務手当 受給体験記

チェックにチェックを重ねる!? 丁寧すぎる仕事のやり方は如何なものか!

2019年12月の土曜日。事故対応のため管理職特勤手当に該当する業務に従事した。自身は事務所から車で4時間もかかる実家に所用で出かけていた。関係自治体等との調整を管理職たる私が行い、部下には報告書作成のため、事務所への出勤を指示している。幸い事故は、大事には至らなかった。

管理職特勤手当を申請時に、関係自治体等と事務所幹部との調整の経過を記したメモを渡した。「部下に指示すれば足りる」事ではないことは理解してもらえた。

1月の中旬に、「メモの後半の連絡と連絡の時間が長い、何をしていたか」を聞かれた。おそらく記された始まりの時間と終わりの時間まで、他の家事(私用)をしていないか?の確認。正直に「係長にお願いしたことの終了連絡を待っていた。」と回答した。そもそも、前半の連絡調整で2時間近くを費やしており、メモの最終時間まで支給対象としても支給ランクアップの6時間は超えない。

更に2月の中旬、「NTTで通話記録を確認したが、メモにないやり取りがあるが…」とのこと。「どこまで疑うのか!」との怒りは抑えて、記憶をたどると相手からかかってきたものと整理が出来た。

2月下旬にやっと「3月の給料で支給します」との連絡を受けた。色々調べて調整してくれた事務所の担当者にはお礼を言いたい。しかし、整備局はもっと「合理的」なチェックが出来たのではないのだろうか? チェックにチェックを重ねる仕事のやり方は仕事は増えるばかりだ。ほどほどで「合理的」で必要な水準に留める仕事のやり方を「マネジメント」することを本省、整備局に期待したいと思う。(R)

働きやすい職場とするため
管理職ユニオンへの
加入をお願いします

